

- 第2中隊
- 第1中隊
- 重迫撃砲中隊
- 第3中隊
- 第4中隊



No.706

霞城

第20普通科連隊広報紙 発行所/山形県防衛協会

第20普通科連隊ホームページアドレス
https://www.mod.go.jp/gsd/f/neae/6d/unit_hp/20i_hp/index.html

第20普通科連隊

KAJYŌ



増強第3中隊 富士に挑む 「令和3年度富士 訓練センター 第4次運営」に参加



編成完結式



暑さに負けず日々奮闘 「新隊員特技課程」

普通科隊員としての技能を向上

Contents

2ページ

- 増強第3中隊 富士に挑む
「令和3年度富士訓練センター第4次運営」に参加
- 元気深刺と真剣に職場体験
「総合的な学習の時間における職場体験」に協力
- 新庄でリクルータが活躍
「リクルータによる広報活動」を実施

3ページ

- 暑さに負けず日々奮闘
「新隊員特技課程」
- 全国各地へ転出 19名の新戦力が加入
「令和3年度前期定期異動」

4ページ

- 未来の指揮官たち20連隊で学ぶ
「令和3年度防衛大学校夏季定期訓練
第3学年部隊実習」に協力
- 事故の絶無へ
「令和3年度連隊安全の日」
- 各種表彰 ●定年退官者紹介 ●9月行事予定

2021

August 08

白河布引山演習場に おのて練成訓練



本番を想定した訓練



訓練後の研究会に参加

11日(日)には編成完結式が行われ、第3中隊長は要望事項を「敵を倒して生き残れ」と明示し、訓示では「長くても苦しい戦いになるかもしれないが、一人一人が困難な状況

増強第3中隊 富士に挑む

「令和3年度富士訓練センター 第4次運営」に参加



連隊長が現地指導

7月8日(木)から15日(木)までの間、北富士演習場(山梨県)において富士訓練センター(FTC)が実施する「令和3年度富士訓練センター第4次運営」に第3中隊(中隊長・高井3佐)が参加した。

本訓練には東北方面特科連隊第5中隊、第22即応機動連隊第1機動戦車中隊、第6後方支援連隊第1普通科直接支援中隊、第6施設大隊第1



戦闘指導・予行で作戦企図の徹底を図る

場において、5月23日(日)から28日(金)の5夜6日にわたり陣地防衛の練成訓練を実施したほか、7月2日(金)には駐屯地営庭において戦闘指導・予行を行い、訓練参加部隊に対して細部にわたる作戦構想の徹底を行い万全な態勢を確立させた。

9日(金)早朝、雨と雨が降りしきる状況の中、第3中隊主力は車両により梯隊を組み、神町駐屯地を出発し、操縦手及び車長は相互に連携を取り合い、時間にして7時間、約360kmの経路を安全かつ確実に車両行進を実施し、北富士演習場に部隊を集結させた。

15日(木)には富士訓練センターが主催する研究会に参加し、戦闘結果から分析及び評価を行い、多くの教訓事項を得ることが出来た。連隊は10月に予定されている戦闘団訓練検閲に向け、更なる練度向上を図っていく。

編成完結式終了後、各部隊は、速やかに戦闘地域へ前進して、防衛準備に移行し、広大な戦場監視網を構成するとともに、掩蓋材を適切に使用した陣地構築、鉄条網や地雷、指向性散弾など火力発揮を促進する障害構成に真摯に取り組んでいた。訓練間、真夏の日差し、雨、雷、霧など目まぐるしく変化する天候の中、昼夜を問わず、困難に負けることなく、それぞれが与えられた任務に邁進し、最後の最後まで諦めることなく作戦遂行し続けた。

訓練所見



役職 小銃小隊長
階級 3尉
名前 吉田 正人

所見 小銃小隊長として、主戦闘地域の防衛を命ぜられたが、状況終了時、残存した小隊員は自分と通信手の2名のみだった。この結果を真摯に受け止め、如何にして残存して戦闘するかを、隊員一人ひとりが考え事後の訓練に反映させたい。



役職 O1ATM手
階級 3曹
名前 菅 拓磨

所見 訓練を通して、指揮の継承と状況判断能力が重要であると感じました。状況終了時まで戦い抜くことはできたが、どちらの能力も不足していると感じました。今回の経験を生かしつつ日々練成を重ねていきます。



役職 小銃手
階級 士長
名前 佐藤 和輝

所見 初めてのFTC訓練参加でしたが、分隊長の指揮下に入り迅速に陣地構築をすることができ、与えられた任務に邁進できました。引き続き、戦闘団訓練検閲に向けて頑張りたいです。

元気浣刺と真剣に職場体験 「総合的な学習の 時間における 職場体験」に協力



真剣に課目に取り組む生徒たち

7月7日(水)、神町駐屯地において山形地方協力本部が実施する「総合的な学習の時間における職場体験」に協力した。

職場体験には、新庄神室産業高校真室川校から1名、新庄南高校金山校から1名、新庄北高校最上校から4名、庄内農業高校から1名、鶴岡工業高校から4名、村山市立

楯岡中学校から9名、金山町立金山中学校から1名、大江町立大江中学校から8名、計29名の生徒が参加、連隊広報室が担当しロープワークの課目を実施した。

実施間、時折笑いがかかる賑やかな雰囲気の中、参加した生徒たちは、訓練を担当している隊員に質問したり、他の学校の生徒と交流を深めたりと、楽しく興味を持ちながら自衛隊の訓練を体験した。

生徒たちは「自衛隊の訓練楽しかった」「今度は違う訓練も体験してみたい」とコメントし、自衛官という職業に興味を示していた。



自衛隊におけるロープの使用方を展示

「リクルータによる広報活動」を実施



参加者の質問に対し真摯に対応



スライドを活用し自衛隊について説明

7月31日(土)、最上広域交流センターゆめりあにおいて、新庄警察署と自衛隊山形地方協力本部新庄地域事務所が合同で実施する「合同職場説明会」に協力し、リクルータとして第2中隊 加藤士長、伊藤1士の2名が参加した。

リクルータの2名は会場に訪れた25名(対象者の保護者含む)の参加者に対し、自衛官採用試験や制度、自衛隊の訓練や営内生活について、スライドを活用して説明を行った。また、衛生器材及び人命救助セットの展示説明を実施し、装備品の使用用途や取扱いについて説明したほか、参加者は実際に人命救助セットを背負って重量などを体験していた。

参加者たちは、隊員の凛とした姿に目を輝かせつつ、「一般陸曹候補生と自衛官候補生の違いについて理解を深めることができた。」「普段触れることができない自衛隊の装備に触れることができて楽しかった」とコメントし、自衛隊に関心を寄せていた。



3,000m走

体力検定



構築した掩体を研修(軽火器)



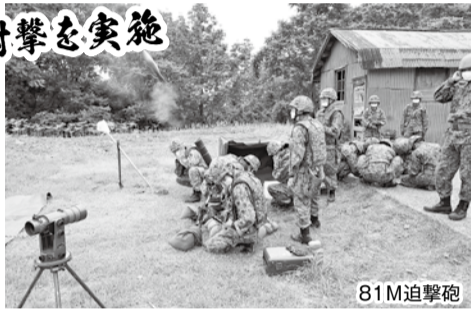
超壕

暑さに負けず日々奮闘 「新隊員特技課程」



縮射弾射撃を実施

120M迫撃砲



81M迫撃砲

新隊員教育隊(教育隊長・浅野2佐)は、7月5日(月)から新隊員特技課程及び第17期一般陸曹候補生課程後期教育を開始し、9月中旬に新隊員をそれぞれの中隊に送りだせるよう日々訓練に励んでいる。

7月13日(火)、神町駐屯地営庭において体力検定が行われ、新隊員たちは自身の持つ記録を更新させることを目標に、一生懸命に挑戦していた。特に3000m走の出走時には、区隊ごとに「軽火器行くぞ!」「暑さに負けずに走り切るぞ!」など力強い掛け声が飛び交い、若く活気に溢れる姿が印象的であった。

7月27日(火)には大高根演習場において軽火器区隊は掩体構築を、迫撃砲区隊は120M・81M迫撃砲の縮射弾射撃を行い、それぞれの特技について理解を深め基礎的事項の修得を図った。

今後、9月1日(水)2日(木)には神町駐屯地において訓練評価、4日(土)5日(日)には王城寺原演習場において射撃野営、9日(木)10日(金)には西・東訓練場において総合訓練(35km徒步行進訓練、陣地攻撃)が予定されており、新隊員たちは普通科隊員としての基礎を確立するため日々精進している。

令和3年度前期定期異動により32名が転出、19名が新戦力として転入した。

7月30日(金)、営庭において転出者紹介行事が行われ、転出者を代表して第3中隊長(高井3佐)が「伝統ある20連隊で勤務できたことに誇りを持ち、新任地でも一生懸命に頑張ります。」と挨拶した。引き続き見送りが行われ、転出者は同僚たちと言葉を交わし、別れを惜しみつつも、決意新たに20連隊を後にした。

8月6日(金)には営庭において転入者紹介行事が行われた。行事は転入者が自己紹介をした後、第3中隊長丸山3佐が転入者を代表して挨拶を行った。転入者の中には、初めて20連隊で勤務する隊員もおり、緊張した様子だったが、連隊の隊員に温かく迎えられ、安堵の笑みを浮かべる場面も見受けられた。

引き続き、連隊教場において新着任者教育が行われ、連隊幕僚等より所掌の事項について説明があり、20連隊についての認識を深めた。参加した隊員は少しでも早く、部隊に慣れるために真剣な表情で耳を傾けていた。



転入者代表挨拶(第3中隊長:丸山3佐)



新着任者教育



相互に敬礼

全国各地へ転出 19名の新戦力が加入

令和3年度 前期定期異動

転出者紹介行事



見送り

令和3年度(前期)転出入者

【転出】(幹部:5名 准曹:27名)				
中隊	階級	名前	転出先	
連隊本部	1尉	後藤 忠征	第1師団司令部(練馬)	
同	1尉	大須賀岳夫	高等工科大学(武山)	
同	3尉	小松 奈央	東北方面警務隊(仙台)	
本部管理中隊	准尉	荒井 建一	神町駐屯地業務隊	
同	1曹	山口 朋也	第2陸曹教育隊(仙台)	
同	2曹	平山 英二	普通科教導連隊(滝ヶ原)	
同	2曹	工藤 善久	衛生教導隊(三宿)	
同	2曹	宮城 邦彦	第26普通科連隊(留萌)	
同	2曹	大場 博光	富士学校(富士)	
同	2曹	松田 稔	第6師団司令部付隊	
同	2曹	真壁 英之	第6飛行隊	
同	2曹	高橋 尚幸	第6師団司令部付隊	
同	2曹	横田千香子	山形地方協力本部	
同	3曹	寒河江将正	北方方面対艦対戦艦隊(俱知安)	
同	3曹	熊坂 純一	北方方面対艦対戦艦隊(俱知安)	
第1中隊	曹長	赤平 裕司	山形地方協力本部	
同	1曹	小野 平和	神町駐屯地業務隊	
同	3曹	長嶋 茂樹	部隊訓練評価隊(滝ヶ原)	
同	3曹	齊藤 優	第14普通科連隊(金沢)	
同	3曹	安藤 博成	第11普通科連隊(東千歳)	
同	3曹	伊藤 隆久	第6師団司令部付隊	
第2中隊	1曹	長南 俊	山形地方協力本部	
同	3曹	昆布谷千尋	中央即応連隊(宇都宮)	
同	3曹	大沼 二大	対馬警備隊(対馬)	
同	3曹	吉田 利幸	第6師団司令部付隊	
同	3曹	伊藤 裕也	第123地区警務隊(青森)	
第3中隊	3佐	高井 良輔	第15旅団司令部(那覇)	
同	曹長	伊藤 幸郎	山形地方協力本部	
第4中隊	1尉	吉岡 寛幸	第28普通科連隊(函館)	
同	曹長	佐藤光太郎	山形地方協力本部	
同	3曹	佐藤 勇輝	第18普通科連隊(真駒内)	
重迫撃砲中隊	3曹	柴田 智広	中央即応連隊(宇都宮)	

【転入】(幹部:3名 准曹士:16名)				
中隊	階級	名前	前部隊	
本部管理中隊	准尉	船 義行	航空学校(北宇都宮)	
同	曹長	大沼 博文	山形地方協力本部	
同	曹長	林 茂泰	第6飛行隊	
同	1曹	庄司 英則	職種協同センター(富士)	
同	2曹	仲野正登志	富士教導団本部付隊(富士)	
同	3曹	高橋 信尋	普通科教導連隊(滝ヶ原)	
同	3曹	天間 捷英	第6後方支援連隊	
第1中隊	准尉	丹野 優一	山形地方協力本部	
同	2曹	叶 優樹	第119教育大隊(多賀城)	
第2中隊	1尉	天間 直哉	第1師団司令部(練馬)	
同	1尉	白田 信幸	第119教育大隊(多賀城)	
同	1曹	櫻井 春樹	神町駐屯地業務隊	
同	2曹	中里 光弘	第25普通科連隊(遠軽)	
第3中隊	3佐	丸山 真弥	第6師団司令部	
同	2曹	新聞 雅士	普通科教導連隊(滝ヶ原)	
同	2曹	奥山 幸介	第18普通科連隊(真駒内)	
同	1士	佐藤 風河	第39普通科連隊(弘前)	
第4中隊	1尉	石井 陽介	北海道補給処(島松)	
重迫撃砲中隊	1曹	星 守人	普通科教導連隊(滝ヶ原)	
同	1尉	吉村 雄太	第1中隊	
同	2尉	長南 秀彦	本部管理中隊	
本部管理中隊へ	3尉	長谷川裕司	第3中隊	
同	准尉	秋葉 秀正	重迫撃砲中隊	
同	1曹	高橋 正憲	第2中隊	
同	2曹	荒井 仁	第3中隊	
同	2曹	原 崇	重迫撃砲中隊	
第2中隊へ	准尉	安食 恵吾	本部管理中隊	
同	准尉	後藤 信幸	本部管理中隊	
第4中隊へ	3尉	横山 良平	連隊本部	
同	曹長	高橋 幸一	本部管理中隊	

連隊内異動

中隊	階級	名前	前中隊
連隊本部へ	3佐	久我谷朋宏	第2中隊
同	1尉	吉村 雄太	第1中隊
同	2尉	長南 秀彦	本部管理中隊
本部管理中隊へ	3尉	長谷川裕司	第3中隊
同	准尉	秋葉 秀正	重迫撃砲中隊
同	1曹	高橋 正憲	第2中隊
同	2曹	荒井 仁	第3中隊
同	2曹	原 崇	重迫撃砲中隊
第2中隊へ	准尉	安食 恵吾	本部管理中隊
同	准尉	後藤 信幸	本部管理中隊
第4中隊へ	3尉	横山 良平	連隊本部
同	曹長	高橋 幸一	本部管理中隊

新着任指揮官・幕僚紹介

【第1科長】
3等陸佐
久我谷 朋宏



・年齢 45歳
・趣味 ゴルフ
・モットー 「万里一空」
・前部隊 連隊 第2中隊長

【第2中隊長】
1等陸尉
天間 直哉



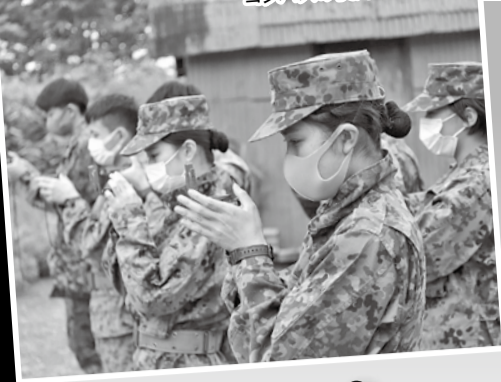
・年齢 41歳
・趣味 映画鑑賞、熱帯魚観賞、ランニング
・モットー 「酒は上手に飲む」
・前部隊 第1師団司令部

【第3中隊長】
3等陸佐
丸山 真弥



・年齢 43歳
・趣味 読書、英語学習、スーパーの特売めぐり
・モットー 酒は上手に飲む
・前部隊 第6師団司令部

コンパスの使用方法を学ぶ



9月行事予定

- 1日(水)** ・大高根青年修養道場記念碑建立51周年記念祭協力
 - 4日(土)～8日(水)** ・戦闘団訓練検閲訓練成訓練
 - 17日(金)** ・令和3年度新隊員特技課程及び第17期一般陸曹候補生課程後期教育修了式
- 中旬～10月上旬**
令和3年度陸上自衛隊演習

各種表彰

- 【令和3年度第2回前期方面総監表彰】**
○第4級賞状
(隊員自主募集優秀部隊)
・第20普通科連隊
- 【7月警衛勤務優秀らっぱ手】**
- | | | | |
|---------|----|----|----|
| 重迫撃砲中隊 | 1士 | 橋本 | 未句 |
| (7日上番) | | | |
| 第1中隊 | 3曹 | 武田 | 迅 |
| (9日上番) | | | |
| 本部管理中隊 | 3曹 | 後藤 | 政樹 |
| (19日上番) | | | |
| 本部管理中隊 | 3曹 | 山崎 | 将央 |
| (29日上番) | | | |

定年退官者紹介

永年の勤務、お疲れ様でした。



・第2中隊
・間木野 睦 准尉
・7月28日付
・山形市在住



・重迫撃砲中隊
・鈴木 政幸 曹長
・8月4日付
・山形市在住

未来の指揮官たち 20連隊で学ぶ

7月2日(金)から7月25日(日)までの間、神町駐屯地において「令和3年度防衛大学夏季定期訓練 第3学年部隊実習」に協力し、第1中隊(中隊長:野村3佐)が担任した。防衛大学からは男性6名、女性5名、計11名の陸上要員の学生が参加し、地図判読、格闘訓練、小隊防衛訓練や広帯域多目的無線機の取り扱い、機関銃実弾射撃及び特殊武器防護訓練を実施した。

着隊当初、学生たちは初めての部隊に緊張した表情を浮かべていたが、実習が始まると真剣な眼差しで各種訓練に臨んでいた。積極的に質問をして理解を深めようとする一生懸命な姿からは、未来の幹部自衛官としての資質が感じられた。

また幹部自衛官になれば経験する機会が少ない営内生活を体験し、娯楽室において曹士の隊員との会話で盛り上がるなど、和やかな雰囲気の中で充実感ある営内生活を過ごすとともに、営内における規律の維持の大切さなどを感じ取っていた。学生たちは部隊実習を通して、幹部自衛官の地位・役割及び部隊の実状を体験し、必要な知識・技能を向上させた。

部隊実習を終えて

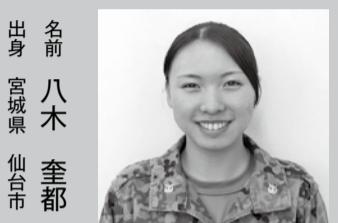
古谷 恒喜
出身 山形県 山形市

所見 私は部隊実習を通して、隊員の温かさを感じることができました。訓練、営内生活を問わず相手のことを思いやり行動していることが実感でき、その温かさが部隊の強さに繋がっているのだと感じました。短い期間でしたが担当して下さった隊員の皆様、ありがとうございました。

「令和3年度 防衛大学夏季定期訓練 第3学年部隊実習」に協力



連隊長と懇談



名前 八木 奎都
出身 宮城県 仙台市

所見 地図判読や防衛訓練では実際に演習場に行き、地図と地形を照らし合わせながら歩いたり、掩体を構築したり、学校では出来ない訓練を体験することができ、とても良い経験になりました。温かく迎えて下さった部隊の皆様本当にありがとうございました。



名前 古谷 恒喜
出身 山形県 山形市

所見 私は部隊実習を通して、隊員の温かさを感じることができました。訓練、営内生活を問わず相手のことを思いやり行動していることが実感でき、その温かさが部隊の強さに繋がっているのだと感じました。短い期間でしたが担当して下さった隊員の皆様、ありがとうございました。



格闘訓練

事故の絶無へ 「令和3年度 連隊安全の日」



慰霊碑参拜

7月26日(月)、神町駐屯地において「令和3年度連隊安全の日」に伴い慰霊碑参拝及び安全教育を行った。本来、連隊安全の日は9月26日であるが今年度は令和3年度陸上自衛隊演習に参加するため、時期を早めての実施となった。

慰霊碑参拝には各中隊10名が参加し、連隊所属の殉職隊員に対して黙祷を捧げ、第1科長が安全教育を行った。訓示において連隊長(荒木1佐)は「我々は国防のために日々訓練を重ねているのであり、訓練等で隊員の大切な命を失ってはならない。各級指揮官は正しい状況判断をするために、日々勉強し適切な識能をもって、訓練事故の絶無に努めよ。」と述べた。慰霊碑参拝後、各中隊計画で安全管理教育及び安全点検を実施し、訓練



連隊本部が車両の安全点検を実施

事故の発生防止に対する認識を深めた。

「安全の日」は、過去に20連隊で発生した訓練事故を風化させることなく、訓練事故を未然に防止するとともに自己及び同僚の身の安全について啓発することを目的として実施され、慰霊碑の22柱、特に20連隊の5柱の御霊を追悼した。

広報室より お知らせ



連隊長自ら安全点検

令和3年度前期定期異動により、広報陸曹 横田千香子2曹が自衛隊山形地方協力本部へ異動となり、新たに富士学校諸職種協同センターから庄司英則1曹が広報陸曹に上番しました。

●新広報陸曹
庄司 英則 1曹
プロフィール
・出身 宮城県栗原市
・趣味 筋トレ
・モットー 明るく、前向きに

【露城発行の時期について】
毎月、広報紙「露城」を愛読で感謝申し上げます。
9月号から11月号については訓練の関係上、編集に遅れが生じるため、時期を遅らせて発行することとなりました。何卒、ご理解をお願い申し上げます。

挨拶
3年4カ月の20連隊で、さらに初めての広報室勤務となります。わからない事が多々ありますが精一杯頑張ります。よろしくお願致します。